

経営比較分析表（令和4年度決算）

福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	△0.83	0.93	71.55	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,355	197.79	168.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
306	1.10	278.18

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の財務適用を行った。

①経常収支比率（％）は、単年度収支が１００％を超え、一定程度の健全性を確保している。

③流動比率は、前年度より増加しているものの、類似団体平均値を下回っている。今後も、「１年以内で現金が出来る資産が１年以内に支払う負債を賄っていない」状況を改善するため、支払い能力を高めるための経営改善を図る必要がある。

⑤使用料で回収すべき経費を賄えているかを示す経費回収率は約５３％であり、１００％以上であることが必要であることをふまえると、污水处理費のさらなる削減などが必要である。

⑥污水处理原価は、類似団体平均値を下回っており、効率的な污水处理が実施されていると考える。ただ今後も現状分析を行い、維持管理費の削減等に努める予定である。

⑧水洗化率は、ほぼ横ばいで、類似団体平均値を下回っているため、引き続き水洗化率を向上させる取組が必要である。

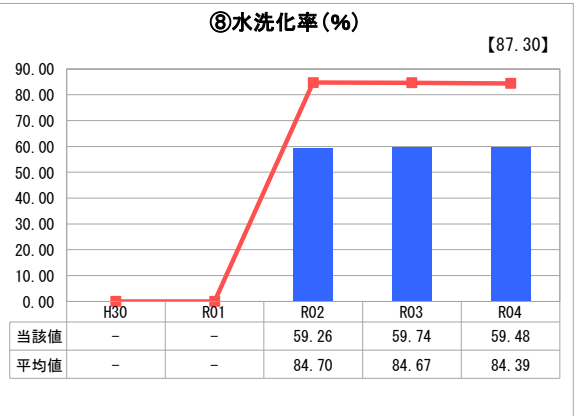
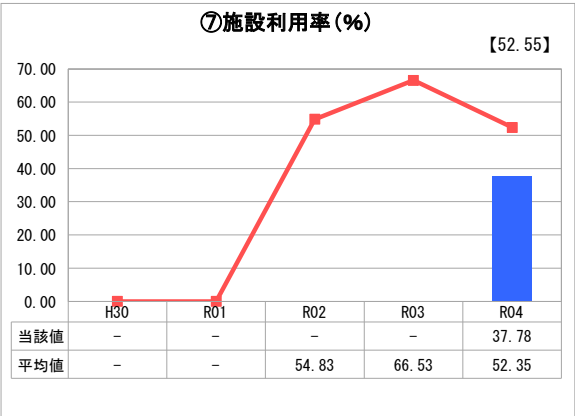
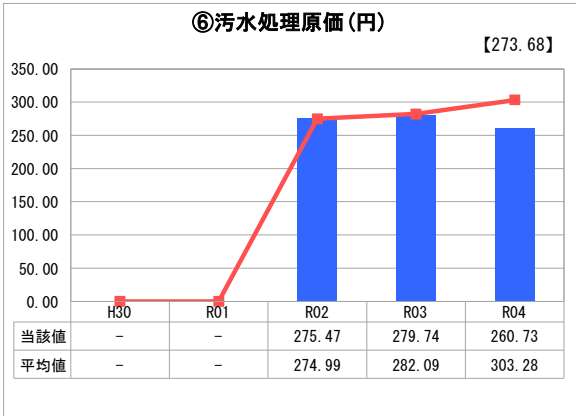
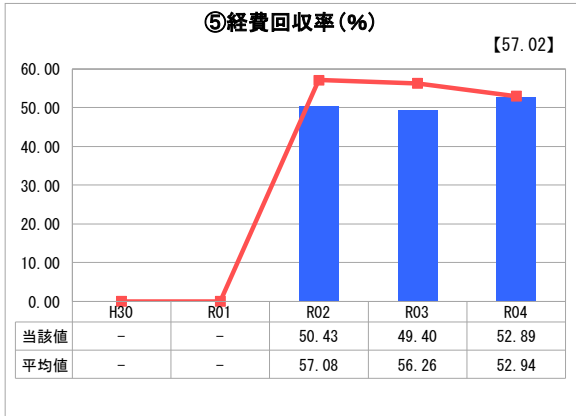
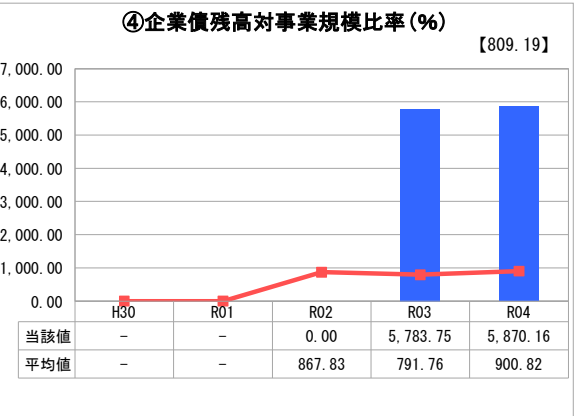
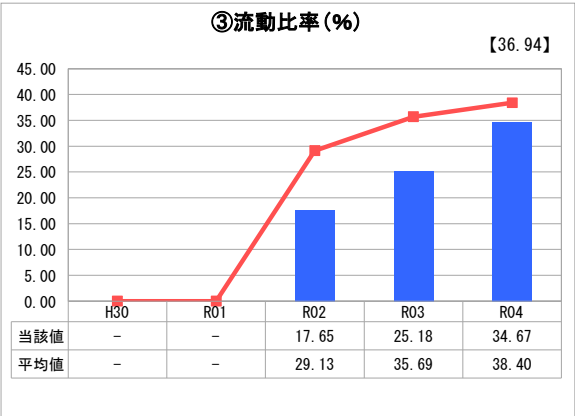
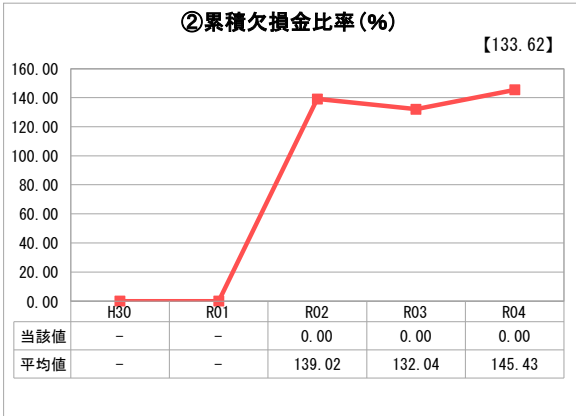
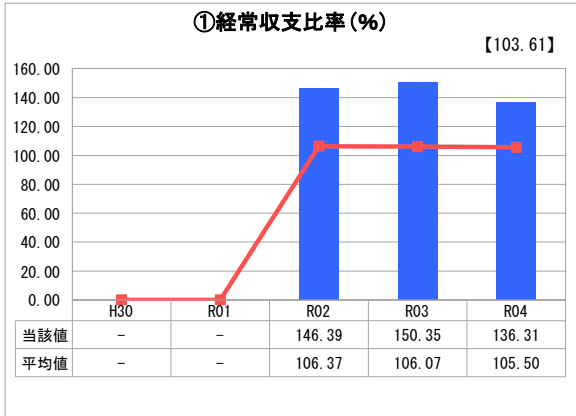
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を下回っているが、年々増加している。供用開始が２０年を経過している管渠施設もあるため、今後ますます老朽化が進むと思われる。重要度の高い施設から順に、管渠施設の更新を進める予定である。

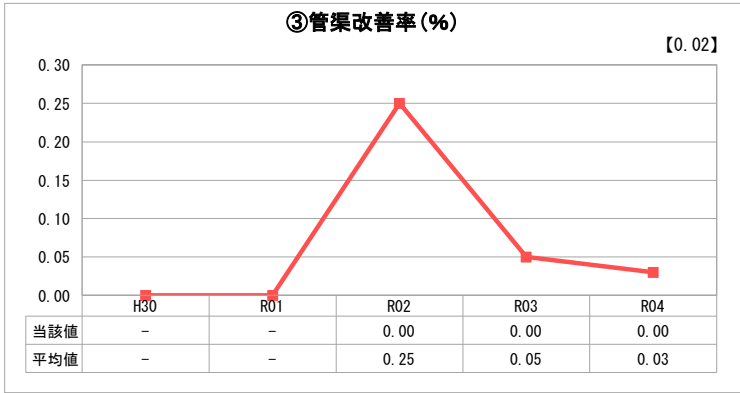
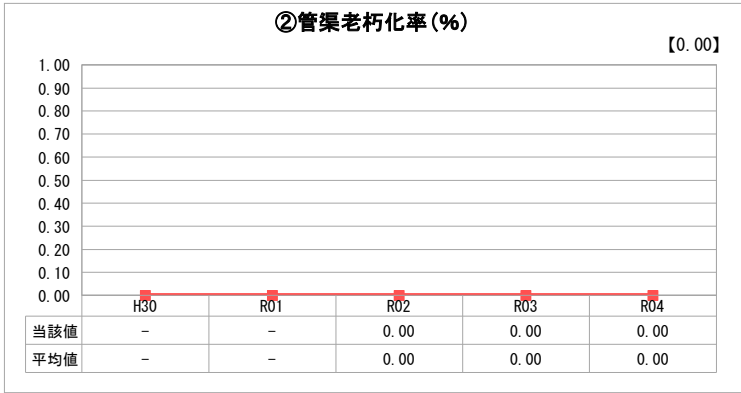
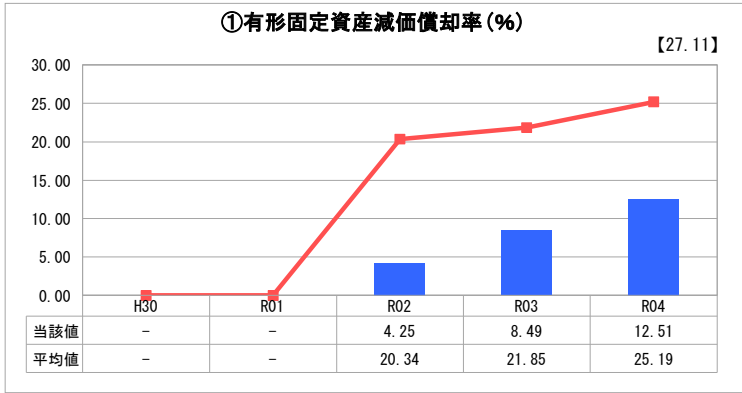
全体総括

農業集落排水地区においては、使用料収入の大幅な増額は見込めないことから、施設の老朽化に対応可能な経営の効率化が求められる。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。